

教科(科目)	音楽 I	単位数(時数)	2 単位 (74)	学年(学科)	1 学年
使用教科書	・教育芸術社『MOUSA I』				
副教材等	・『音楽の鑑賞資料と基礎学習』				

### 1. 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

### 2. 指導の重点

- ① 音楽学習に対する各自の独自性を意識させ、個人の目標、そしてグループの目標の到達に向けて音楽活動に取り組んでもらいたい。また、音楽を楽しむことで情操が育まれるよう心掛けていきたい。
- ② 各楽器の扱い等基本的な事を学ぶ。

### 3. 評価規準と評価方法

#### ○音楽への関心・意欲・態度

音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

#### ○音楽表現の創意工夫

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。

#### ○音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。

#### ○音楽鑑賞の能力

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

#### <評価方法>

日々の授業に対する取り組み方、発表などにおける成果を表現する力、日々の授業の中での集中力、周囲との協調性や積極性などから総合的に評価する。

### 4. 学習アドバイス

- ① 日頃の授業の中での取り組みで充分です。課外時間や自宅学習の必要はありません。
- ② 毎時間の授業の中で集中して練習していきます。その積み重ねを発表していきます。
- ③ 鑑賞教材を使い西洋音楽史にも触れていきます。(担当：高波 礼子)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	・楽器の基本的な取り扱い方 ・各自の選択を決める	4	歌声を合わせ器楽に親しむ。	・発声の基本 ・校歌に親しむ ・器楽(個人選択)演奏
5	・西洋音楽史への導入 ・基礎テスト	6	ギターや木製リコーダーにチャレンジ	・ギターのコード奏法(ストローク) ・歌とギターのアンサンブル ・ギターコンチェルトの鑑賞
6	・楽器選択の内容を深める	8	国民学派の音楽	・スメタナ、チャイコフスキー、ドボルザークのコンチェルト *コンチェルトの編成を理解したか。 *音色と音階を聴き取れたか。 *正しい指揮法、呼吸、タイキングを理解できたか。 *歴史の背景を踏まえて鑑賞できたか。
7	・混声合唱 ・器楽合奏 ・表現テスト	8	ハーモニーを学習しよう	・混声3部合唱 *意欲的に協調性を持って取り組んだか。 *メロディーやリズムは正確か。 *まとまりのある工夫された演奏
9	・ステージ発表へ向けてのマナー	8	合唱、合奏を楽しむ	・ステージマナー ・パフォーマンスの練習
10	・合唱の発表	10	合唱、合奏を楽しむ	・ステージでの表現、態度、マナーは適切だったか。 ・基本を踏まえのびのびと演奏したか。
11	・世界の音楽への理解 ・歌唱テスト	8	アジアの音楽に親しむ	・代表的なアジアの音楽の演奏 ・留学生による自国の音楽の話 ・国の特徴を踏まえた鑑賞
12	・グループ演奏	6	グループ演奏	・グループ毎に選曲、演奏 ・担当パート、和音の担当音の練習 ・他グループの演奏の鑑賞
1	・鑑賞教材の活用	6	ミュージカルの世界	・ミュージカルを鑑賞し、その魅力を話し合う。 ・鑑賞楽曲の演奏 *舞台芸術の楽しさを感じたか。 *場面や詩の意味を理解して鑑賞し演奏できたか。 *外国語の発音に留意して演奏できたか。
2 3	・器楽発表 ・レポート提出 ・歌唱テスト	10	1年間のまとめ ラテンのリズムによって ファイナルコンサート	・ラテン音楽の種類と特徴 ・ラテン楽器の種類、奏法、固有のリズム ・1年間の成果を踏まえた練習と発表

計 148 時間（48 分授業）